

活性化とは組織（職場、各種団体、BSなど）のメンバーがお互いに知恵やノウハウを出し合って、変化に対応していくことで、結果として特定の機能が活発になることを云います。

「組織の活性化」「スカウト活動の活性化」「県連盟組織の活性化」「団・隊活動の活性化」などいろいろなところで活性化という言葉が使われており、活性化させなければならないことが多々あります。そんななかで私の言いたいことは、**ボーイスカウト活動を活性化させたい**ことです。参加スカウトが少なくて集会が盛り上がらない、プログラムがマンネリ化している、スカウトの上進意欲が少ない、欠席者が多い、保護者とのコミュニケーションが乏しいなど多くの現象があります。これらの課題を少しでも早く解決していくために関係者が知恵やノウハウを出し合って、世の中の変化に対応していけるような活動にするには如何したら良いか。**アフガニスタンで医療活動や各種奉仕をされていた、中村哲医師のことばに「議論はいらない、実行あるのみ」というのがあります。スカウト活動も実行力でしょう！！**

組織について & セクショナリズム

- ・組織は業務を実施する為に タテ(階層)と ヨコ(部門)の分業と協業を決め、人を配置したものを云います。
- ・組織は目的が達成できるよう情報を正しく、早く、伝達し、**迅速な意思決定**が行われることが必要です。
- ・組織は、人と、仕組みと基準から成り立っております。
 - 1、協業する。組織の分業は協業があつてこそ有効に機能する。階層間の協力、部門間の連携は、組織が一体となって活動する必須事項であります。
 - 2、組織の決まり(規定)は運用でカバーします。仕事の変化や新規事業などがあり、規定と現実のズレや、会社方針などの変化も発生してきます。
 - 3、ノウハウ、情報を組織で共有化する事が大切です。ノウハウや情報が個人のものにならないように！
- * 組織において、全体がうまく機能するように、部門の行動を考えないことを、セクショナリズムという。

組織は人間関係&コミュニケーションで運用

- ・人間関係とは、人と人との間合いの取り方を云い、良い人間関係とはお互いに相手を認め合い、尊重しあつて、間合いが上手く取れ合っている状態を云う。
- ・逆に相手を認めず、閉鎖的な態度が関係を悪くする。
 - 1、相手を認める。人間関係の基本は、相手の人間性や持ち味を尊重する。(感覚的に好き、嫌い、ウマが合う、合わないとか、考えが違つて遠ざげない)
 - 2、間合いの取り方を考える。近すぎず、離れすぎず絶妙な間合いの取り方を工夫することにより、良い人間関係を築くことができる。
 - 3、相手の信頼を得る。良い人間関係のベースは信頼関係にあり、約束を守る、悪口を言わない、役立つ情報を提供するなど。
- * コミュニケーションの悪さが人間関係を悪くする。管理者は組織のコミュニケーションセンターである。

協調性 & チームワーク

- * 協調性とは、組織の目的・目標達成のため協力することを云い、組織や、個人を生かすことでもある。
- * 組織の一員であることを忘れず、自分が持っている情報やノウハウを他のメンバーに提供をする。
 - 1、全体が上手く行くように考える。組織において仕事を進めるには、全体が上手くいくように自分の行動を調整する必要がある
 - 2、他のメンバーに利益を与える。相手も良く、自分にも良い方法を考える。(Give and take)
 - 3、自分も生かす。ギフをする人には見返りがある情報を提供すれば、情報は流れてくる。組織と個人との調和を図ることが協調性といえよう
- * チームワークとは、目標を達成するため相互分担・協力して業務を進める事を云う (目標、役割分担)

コミュニケーション & かくれんぼ

- ・コミュニケーションとは、「分かち合う」という意味を持ち情報や意思を正しく伝え、相手からも、誤りなく受け取る。情報は伝える努力と工夫が足りないと、旨く伝わらず結果として、人間関係を損なうことが多くなる。
 - 1、正しく早く伝える。監理者は会社の方向性や、現状など多くの情報を持っているので、部下が仕事を進めるための必要な情報を早く伝える責任がある。
 - 2、わかりやすく伝える。情報伝達は、グラフや図表を使ってできるだけ具体的に伝えることがよい。
 - 3、上手く聞く。情報の受け手にも技術が必要。5WHY で伝える側の工夫と、理解しようとする受け手側の心掛がコミュニケーションの基本である。
- * 確認、連絡、報告はタイミングよく行うことが必要で、途切れるとトラブルになることが多い。